

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 事業計画書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

提案団体	団体名	一般社団法人はるそら
	担当者氏名	氏名 多田 美佳
	連絡先	住所 〒700-0023 岡山市北区駅前町一丁目 10-20 放駒ビル2F 電話 086-230-4834 Eメール harusoraegao@gmail.com
学識経験者による技術指導・意見聴取	団体名	公立大学法人 岡山県立大学
	学識経験者	保健福祉学部 保健福祉学科 教授 竹本 与志人
岡山市の協働課	課名等 担当者氏名 連絡先	高齢者福祉課 難波 康亮、岡 ひとみ 086-803-1230
目的	<p>(社会的背景)</p> <p>認知症施策推進大綱(令和元年 6 月 18 日)では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族(以下、当事者等)の視点を重視しながら、認知症になってからもできる限り住み慣れた地域で普通に暮らすための障壁を減らしていく「認知症バリアフリー」の取組の推進が、重要な課題の一つであることが示された。</p> <p>そのためには、当事者等の視点から、「診断直後等の認知症に対する受容の難しさ」「今後の見通しに対する不安」なども含め、当事者等の支援ニーズを具体的に把握することが必要である。これにより、できないことを様々な工夫で補いつつ、できることを活かして、認知症の人が希望や生きがいを持って暮らしていくことができる地域づくりを進めていくことが求められている。</p> <p>(目的)</p> <p>本事業の目的は、岡山市で当事者等に対する診断直後等の早期の円滑な支援が可能となることを目指し、当事者等の診断直後等の心理面・生活面での支援ニーズの実態を明らかにし、チームオレンジ(認知症サポーター等がチームをつくり、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み)やピアサポート活動(認知症の方による相談支援の仕組み)を円滑に地域ごとに構築していくための実践モデルを開発することである。</p> <p>その第一段階として、令和 2 年(2020)年度はアンケート調査を実施し、当事者等の視点から診断直後等の心理面・生活面での支援ニーズの実態を把握する。アンケート調査では、下記のようなニーズを明らかにし、当事者等が期待する、関係機関・地域資源の連携体制や連</p>	

	<p>携担当者の実践すべき援助業務・支援内容を探索する。</p> <p>ソフト面: 本人・家族と支援者の交流の居場所、相談、本人同士のつながり、社会参加活動プログラム、地域連携・ネットワークなど</p> <p>ハード面: コーディネーター、協力してくれる人、活動エリア、運営母体、チームリーダー、構成人数、企業・団体との連携、専門機関とのつなぎ、拠点スペースの確保、チーム間の連携の確保方法(拠点スペースがない場合)</p> <p>なお、本調査の実施にあたって、遵守すべき倫理指針に基づいた研究・調査計画等を明記した書類を準備し、調査実施前に岡山県立大学倫理委員会で審査を受け、承認を得ることとする。</p>
<p>対象及び数量</p>	<p>対象 認知症と診断された本人及びその家族</p> <p>数量 認知症の方が診断受診されているであろう神経内科・精神科病院を中心に配布受診時に医療機関からアンケートを渡す(アンケート回収数=500を想定)</p>
<p>調査方法</p>	<p>●調査の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①全国のニーズ調査報告書の収集・診断後の内容の抽出、病院 MSW・PSW から情報収集 ②岡山市内の認知症かかりつけ医制度登録の医療機関及び岡山県内の認知症専門医療機関等のうち 23 か所を抽出。状況に応じて個人病院等も調査する。 ③「アンケート実施のお知らせ」と共に、「認知症で診療を受けている受診者数」を調査 ④③の受診者数を基に、アンケート送付先・発送数を確認 ⑤医療機関の病院長宛てにアンケートを配布(持ち込みによる依頼) ⑥回答済アンケートを回答者が返信用封筒にて郵送 <p>●アンケート調査内容(予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①調査対象者の属性 ②相談者の有無と属性 ③関係者とのコミュニケーションの状況 ④当事者・家族の生活状況 ⑤利用している社会資源と情報の入手方法 ⑥本人・家族と支援者の交流の居場所ニーズ ⑦本人・家族と支援者の交流の居場所利用状況 等 <p>※岡山県立大学 竹本教授と共に作成し、岡山県立大学倫理委員会の承諾を得る</p> <p>●分析の視点(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各質問項目の基礎集計 ・属性とニーズの関連性 ・関係者とのコミュニケーションの状況とニーズの関連性 ・ニーズと利用状況の関連性 等 <p>※岡山県立大学にて分析を行い、報告書を作成する</p>

	月	内容	担当	
工程(案)	5	・アンケート発送準備(受取人払承認請求、返信封筒作成依頼等)	はる	
	6	・全国のニーズ調査報告書の収集・診断後の内容抽出 ・病院 MSW・PSW から情報収集	はる・大学・(高齢) はる・大学・(高齢)	
	7	・抽出作業結果を基にアンケート案作成 ・医療機関宛て受診患者数調査(高齢者福祉課が実施済)結果を基にアンケート送付先と発送数確認	はる・大学・(高齢) はる・高齢	
	8	・倫理委員会申請書類作成	はる・大学・高齢	
	9	県立大学倫理委員会、アンケート内容確定	大学	
	10	アンケート配布(医療機関宛) →医療機関から受診時にアンケート配布	はる 県立大学	
	11	アンケート随時提出	はる	
	12	アンケート提出×切	はる	
	1	アンケート入力・集計	はる	
	2	アンケート集計・分析 報告書作成 今後の事業計画策定	はる・大学 大学 はる・大学・高齢	
	結果の活用	※市民協働推進モデル事業又は岡山市との協働事業の実施案について記載して下さい。		
		調査結果をもとに、認知症の人やその家族の意見を踏まえ、必要な連携体制づくり等を反映したチームオレンジとピアサポート活動をモデル事業として実践し、市の一般施策化の検討につなげる。		

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支予算書

単位(円)

提案事業名	認知症の人本人・家族の支援ニーズ調査事業
-------	----------------------

(収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体	126,000 円
	合同提案団体	円
	合計(a)	126,000 円
事業収入	事業収入	円
	合計(b)	円
岡山市補助金申請額(c)		500,000 円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)		626,000 円

(支出)

	費目	金額	内訳
経費	人件費(アンケート入力)	60,000 円	@1200×50H×1人
	人件費(情報収集作業・整理)	216,000 円	@1200×60H×3人
	通信運搬費	60,000 円	500通×@92円(郵送料)+@15円(料金後納手数料)とその他
	消耗品費	30,000 円	印刷、インク代、ファイル代等事務用品
	印刷製本費	250,000 円	アンケート・封筒コピー代(3000部)、 冊子代1000部
	交通費	10,000 円	病院23か所配布予定 @15円×384.6Km、駐車場代
総事業費		626,000 円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。

※委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限ります。